

作成年月日	平成27年8月31日
作成部局 課室名	産業労働部国際局 国際交流課

知事の海外出張（ブラジル連邦共和国、アルゼンチン共和国、パラグアイ共和国、ドイツ連邦共和国）の概要

日伯修好120周年にあたる今年、兵庫県とブラジル・パラナ州との友好提携45周年を迎えた。このため、両県州の交流と相互理解の一層推進を目的に、知事を代表とする友好代表団、議会訪問団、県民交流団、経済訪問団、環境訪問団、柔道訪問団など82名がブラジル・パラナ州を訪問した。パラナ州では、リッシャ知事との交流協議のほか、友好提携45周年共同声明の調印を行い、今後の交流の一層の推進を確認するとともに記念祝賀会に出席した。

また、ブラジル及びアルゼンチンの両兵庫県人会が創立55周年を迎えることから記念式典に参加するとともに、パラグアイ兵庫県人会との交流会にも参加し、南米兵庫県人会関係者との交流を深めた。また、往路において、フランクフルトでの乗継時間を利用し、神山在フランクフルト日本国総領事を訪問し、ドイツ・フランクフルト地域との交流について協議を行った。

記

I 期間 平成27年8月17日（月）～26日（水）

II 訪問地 ブラジル連邦共和国、アルゼンチン共和国、パラグアイ共和国、ドイツ連邦共和国

III 主な内容

1 兵庫県・パラナ州友好提携45周年事業

(1) パラナ州カルロス・アルベルト・リッシャ知事表敬訪問

○ 日時：平成27年8月20日（木） 10:00～11:00

○ 場所：パラナ州政府庁舎（イグアス宮殿会議室）

○ 参加者：

（パラナ州側）

リッシャ知事、トライアノ議長、エゼキアス儀典長 等

（兵庫県側）

井戸知事、石川議長、三野日伯協会理事長、秋武県民交流団長、藤浪経済訪問団長、築谷環境訪問団長、藤木柔道訪問団長 等

（同席者）

池田在クリチバ日本国総領事、西森下院議員、山脇パラナ日伯修交120周年祭式典委員会委員長 等

○ 内容：

表敬訪問に先立ち、イグアス宮殿正面玄関で井戸知事による儀礼兵の閲兵があった。



（閲兵の様子）

その後、井戸知事等は、リッシャ知事をイグアス宮殿に訪問し、これまでの45年にわたる両県州の友好提携の成果を確認するとともに、今後の交流促進について意見交換を行った。

リッシャ知事は「2005年のクリチバ市長時代に兵庫県を訪問し、温かい歓迎を受けた。日系移民がこのパラナ州を生活しやすい地域にすることに大きな貢献をいただいていることを認識している。パラナ州と兵庫県の姉妹提携関係をさらに深めていきたい。」と述べた。

井戸知事から「クリチバ市長時代に日本庭園でお会いした。同じ年に来日いただき交流できた。今度は、知事として是非兵庫を訪れていただくことを期待する。そして、日本とブラジル、兵庫県とパラナ州、そしてそれをもとにした県民・州民の交流が盛んになることを期待する。」と述べ、両県州が今後も、経済交流をはじめとする多様な分野での交流を拡大させるための意見交換を行った。

なお、リッシャ知事の執務室に案内されたところ、柵に着物姿の少女二人と井戸知事とリッシャ知事の写真が架けてあった。日本庭園でのスナップ写真で感激させるものであった。また、企画調整局長官バーホス氏は前マリンガ市長で、日本庭園の設置にあたっての思い出を話され、加古川市との交流に感謝されていた。



(表敬の様子)



(参加者全員との記念撮影)

(2) 兵庫県・パラナ州友好提携45周年共同声明調印・県功労者表彰・記念祝賀会

○ 日 時：平成27年8月20日(木) 11:15~14:00

○ 場 所：

共同声明調印式・県功労者表彰：パラナ州政府庁舎（イグアス宮殿大会議室）

記念祝賀会：グラシオーザ・カントリー・クラブ

○ 参加者：約200名

(パラナ州側)

リッシャ知事、トライアノ議長、シアラ官房長官 等

(兵庫県側)

井戸知事、石川議長等兵庫県議会友好訪問団、三野日伯協会理事長、県民交流団、経済訪問団、環境訪問団、柔道訪問団 等

(同席者)

池田在クリチバ日本国総領事、高山下院議員、西森下院議員、山脇パラナ日伯修交120周年祭式典委員会委員長 等

○ 内 容：

(共同声明調印)

兵庫県訪問団及びパラナ州政府関係者が見守る中、両県州の交流の成果並びに今後の交流推進方針を盛り込んだ共同声明に、両知事が調印し、兵庫県からは石川議会議長、パラナ州からはトライアノ議長が立会人署名を行った。



(調印後の記念撮影)

この後、山脇委員長から「青少年やミッションの相互訪問のほか兵庫県から投資がされるようになった」こと、池田総領事から「兵庫県からの焼き海苔のパラナ州での生産計画も進展中」であること、高山下院議員から「パラナ州と兵庫県の交流が両国関係においても意義深い」ものであること、西森下院議員から、「井戸知事からの両州県の経済交流に係るご指導に感謝している」とする祝辞が述べられた。

リッシャ知事から「パラナ州民、兵庫県民が関心を持つ交流を推進したい。是非、再生可能エネルギーの分野でも技術交流、さらに、クリーンエネルギーの開発センターを作っていきたいので協力をお願いしたい。」と述べた。

井戸知事からは、「パラナ州議会の日系人感謝決議から始まった兵庫・パラナ友好提携が45年を迎えた。青少年、文化、経済など各分野の積み重ねをしてきた。最近では、経済交流に大きな成果を上げている。また、そのプロジェクトを是非実施したい。特に青少年交流は、異なる環境、文化を理解でき、世界平和と双方の地域の発展に不可欠なものであるので力を入れていきたい。さらに、リオデジャネイロでオリンピックが開催される前年に両県州のさらなる発展を期す共同声明を発表でき、いわば新たな時代のシンボルとなった。」とし、次のお祝いの短歌を披露した。

「ブラジルの空に大きな光輝き 今日から新たなパラナと兵庫」

(参考1)「兵庫県・パラナ州友好提携45周年記念共同声明」

(県功労者表彰)

共同声明調印後、井戸知事から、リッシャ知事と西森下院議員に対して、両県州の交流親善に貢献されたとして県功労表彰状を贈呈した。

これに対して、リッシャ知事からは、「まことに光栄。パラナ州民を代表して心よりお礼を申し上げます。」との謝辞があった。



(表彰者との記念撮影)

(記念祝賀会)

クリチバの市街地の中央部に位置し、貴重なオープンスペースを提供し、ゴルフ場、テニスコートその他健康施設などを有する高級クラブの「グラシオーザ・カントリー・クラブ」において、記念祝賀会が開催された。兵庫県訪問団一行及びパラナ州政府関係者のほか、地元関係者などが出席した。祝賀会では、それぞれのテーブルを中心として懇談を行い、大いに交流の輪を広げた。



(乾杯する井戸知事)



(記念祝賀会の様子)

(3) パラナ日伯修交 120 周年祭式典委員会主催周年記念コンサート

- 日 時：平成 27 年 8 月 20 日(木) 20:30～21:30
- 場 所：グアイリニャ劇場 (クリチーバ市内)
- 参加者：約 500 名

(パラナ州側)

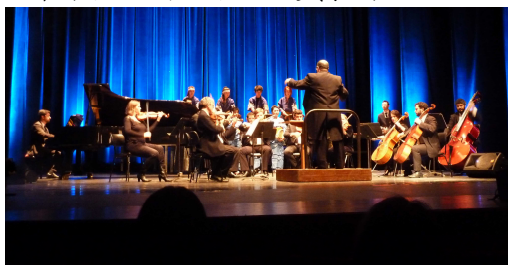
パラナ州政府関係者、パラナ日伯修交 120 周年祭式典委員会 等

(兵庫県側)

井戸知事、石川議長他兵庫県議会友好訪問団、三野日伯協会理事長、県民交流団、経済訪問団、環境訪問団 等

○ 内 容：

パラナ日伯修交 120 周年祭式典委員会が兵庫県からの訪問団を歓迎するとともに、パラナ州民に日本文化紹介をするためにコンサートを開催した。和太鼓演奏で開会し、ブラジル人歌手 (ルイザ・ウワデン氏) と同劇場四重弦奏によるブラジル・パラナ音楽歌唱、ブラジル在住の日本人歌手 (マサミ・ガネブ氏) による「さくらさくら」、「赤とんぼ」、「小さい秋見つけた」の 3 曲の歌唱を鑑賞した。ブラジル、日本文化両方を同時に鑑賞、楽しむことができた。



(コンサートの様子)



(関係者との記念撮影)

(4) 県柔道訪問団とパラナ柔道連盟との合同練習見学

- 日 時：平成 27 年 8 月 21 日(金) 10:00～11:00
- 場 所：バゴージ体育館 (クリチーバ市内)
- 参加者：

(パラナ州柔道連盟側)

岩下パラナ柔道連盟会長、山内同顧問、鈴木九段 等

(兵庫県柔道連盟側)

藤木会長、能庄選手、阿部選手、小林選手、石山選手、李 (新井) 選手 等

(兵庫県側)

井戸知事、石川議長他兵庫県議会友好訪問団、岡田国際局長 等

○ 内 容：

井戸知事を代表とする友好代表団及び石川議長を代表とする兵庫県議会友好訪問団が、兵庫県・パラナ州 45 周年を記念してパラナ州を訪問した県柔道訪問団とパラナ柔道連盟の合同練習を見学するとともに、県柔道訪問団団員およびパラナ柔道連盟の柔道選手の激励を行った。

パラナ州だけで、柔道人口は 15 万人を超える盛況ぶりとのこと。

その後、歓迎会が開催され、パラナ柔道連盟の岩下会長が「2013 年に兵庫県を訪問し、翌年には選手を派遣し、礼儀や技法などを教えてもらった。今回は日本からお越しいただいたが、今後とも選手を送っていきたい」との希望が述べられ、これ



(兵庫県柔道訪問団との記念撮影)

に対して井戸知事から、「昨日のような兵庫県とパラナ州との友好提携 45 周年を迎えての式典も重要だが、民間レベルでの交流の実現、特に青少年の交流が将来の交流につながると期待している。また、この中からオリンピック出場選手がでることを期待している。」と挨拶をした。パラナ柔道連盟より井戸知事、石川議長、山下兵庫県ブラジル事務所長に感謝の意を込めて記念品等の贈呈があった。

なお、バゴージ体育館の道場は、畳ではなくマットの上にシートを敷いてあった。畳不足のため、各地とも畳の確保に苦労しており、100 枚でも 200 枚でもと寄付の要請があった。

また、22 日に、バゴージ体育館で 400 人の出場者を得て開催されたパラナ州の大会で、兵庫県からの 5 選手全員、各部門で優勝した。



(パラナ柔道連盟との記念撮影)

2 南米県人会記念事業

(1) ブラジル兵庫県人会創立 55 周年記念事業

ア ブラジル兵庫県人会創立 55 周年記念式典・祝賀会

○ 日 時：平成 27 年 8 月 23 日(日) 11:00~15:00

○ 場 所：北海道協会会館 (サンパウロ市内)

○ 参加者：250 名

(ブラジル兵庫県人会側)

松下会長、尾西顧問、海外技術研修員 OB、日系留学生 OB、兵庫県人会会員 等

(地元関係者)

原島ブラジル日本都道府県人連合副会長、呉屋ブラジル日本文化福祉協会会長、菊地日伯援護協会会長 等

(総領事館) 中前在サンパウロ日本国総領事

(兵庫県側)

井戸知事等友好代表団、石川議長等兵庫県議会友好訪問団、三野日伯協会理事長、県民交流団、環境訪問団 等

○ 内 容：

式典・祝賀会にはブラジル兵庫県人会、地元関係者及び県訪問団を含め約 250 名が参加した。

友好代表団は、パラグアイのアスンシオンからサンパウロ行きの飛行機がエンジントラブルで経由地シウダー・デル・エステ空港から出発できず、ブラジルのフォス・ド・イグアス空港からサンパウロ入りしたので、開会式に 30 分遅刻した。しかし、一時は、参加できない可能性も高かったため、途中でも参加できたことは幸いだったといえる。

井戸知事から「ブラジルにおける日系人がブラジルの元気を先導し、リーダーとしての役割を果たしてきたことを確認している。これからもブラジルにおけるリーダーシップを発揮してほしい。私たちもみなさんに負けないように、兵庫モデルを推進し、安全・安心な兵庫づくりと人口減少下でも元気が持続する県づくりを続ける。」との祝辞を述べ、県人会創立 55 周年に寄せて次の歌を披露した。



(挨拶する井戸知事)

「困難を乗り越え来たり ブラジルの 大地に生きて 絆 55 年」

続いて、日系政治家として、サンパウロ州議会のハトウ副議長、ブラジル日本文化福祉協会の呉屋会長、そして、ブラジル日本都道府県人連合会の原島副会長の祝辞につづき、祝電披露があった。

また、井戸知事から、尾西顧問に特別感謝状が、同県人会会員で満 80 歳以上の高齢者 15 名に対して表彰状の授与が行われた。高齢者を代表して森口氏から「この歳になるとできることは限られている。それだけに今回の受賞は嬉しい。今後もいい人だったと言ってもらえるようにしていきたい。」との言葉があった。

式典終了後に鏡割り、菊池副会長からの乾杯の発声、55周年を祝うケーキカットで記念祝賀会が始まり、民謡、剣舞の後、サンバでは多くの人が踊りの輪に入った。



(式典参加者全員での記念撮影)

イ 兵庫県海外技術研修員及び日系留学生 OB との懇談会

○ 日 時：平成 27 年 8 月 23 日(日) 15:15～17:00

○ 場 所：北海道協会会館（サンパウロ市内）

○ 参加者：

(技術研修員・留学生 OB)

ひょうご海外技術研修員・ひょうご日系留学生事業参加者 15 名

(兵庫県側)

井戸知事、石川議長等兵庫県議会友好訪問団 等

○ 内 容：

ひょうご海外技術研修員受入事業やひょうご日系留学生受入事業により来県した 15 名と井戸知事及び石川議長等兵庫県議会友好訪問団との懇談会が行われた。

研修員や留学生は帰国後、教師、看護師、公認会計士、空手道場経営等のほか、製薬会社に勤務するなど多彩な分野で活躍をしている。懇談の中で、「日本での勉強が即仕事に役に立った」、「日本人の勤勉さなどに触れ社会を見る目がか変わった」、「今後もこのような素晴らしい制度を続けてほしい」といった感想が述べられた。

また、制度の改善の要望としては、大変満足しているが、さらによくするために「せめて 5 年か 10 年間の数次ビザを導入すること」、「研修の後、働きながら実務研修（インターン）ができること」、「ホームステイの機会がふやすこと」などが挙げられた。井戸知事、石川議長が一人一人にコメントをし、終始なごやかな懇談会となった。



(参加者全員との記念撮影)

(参考 2) 兵庫県海外技術研修員及び日系留学生 OB 出席者名簿

ウ 移民先没者慰霊碑訪問

○ 日 時：平成 27 年 8 月 24 日(月) 10:30～11:00

○ 場 所：イブラプエラ公園内移民先没者慰霊碑

○ 参加者:

(慰霊碑管理者側)

本橋ブラジル日本県人会連合会会長(鳥取県人会)、原島同副会長(千葉県人会)、杉本同副会長(静岡県人会)

(兵庫県側)

井戸知事、石川議長等兵庫県議会友好訪問団 等

(ブラジル兵庫県人会側)

松下会長、尾西顧問 等

○ 内容:

井戸知事、石川議長がブラジル兵庫県人会とともに、移民先没者をしのび、慰霊碑に献花を行った。あわせて、サンパウロ市成立 400 年(1975 年)を期し、京都桂離宮を模して整備された日本館を訪問した。

なお、本橋会長からは「毎年サンパウロ日本祭を実施している。今年から日本政府の 20%補助が入ったが、運営が厳しいので、全国知事会で支援を検討して欲しい旨依頼があった。



(献花した井戸知事)

(2) アルゼンチン兵庫県人会創立 55 周年記念式典・祝賀会

○ 日時:平成 27 年 8 月 21 日(金) 20:00~22:30

○ 場所:ラ・カバナ(ブエノスアイレス市内レストラン)

○ 参加者:約 80 名

(アルゼンチン兵庫県人会側)

今村会長、原元会長、山田前会長、その他の県人会会員小計 60 名 等

(兵庫県側)

井戸知事、石川議長等兵庫県議会友好訪問団 等

(大使館) 福嶋在アルゼンチン特命全権大使 等

○ 内容:

(記念式典)

式典には友好代表団、兵庫県議会友好訪問団を含め、約 80 名が参加。今村会長より、遠方より訪問団がアルゼンチンを訪れたことに対して謝意が示されるとともに、2006 年の国体の際の兵庫県訪問はとても良い思い出であるとともに、今後は原ナタリア薫がひょうご海外研修員として兵庫県を訪れること、さらに兵庫県立大学の野球部有志が JICA の支援でアルゼンチンのチーム交流試合のため、アルゼンチンを継続的に訪問する。この継続についての支援もよろしくお願いしたい旨の発言があった。



(挨拶する井戸知事)

井戸知事から、県人会設立 55 周年への祝意を述べ、アルゼンチン社会をリードし、支えてきた日系人の活動に敬意を表するとともに、アルゼンチン兵庫県人会のさらなる発展を祈念するとの発言があった。また、原さんの御嬢さんがひょうご海外研修員として来県されるが、このような制度を続けていきたいと述べるとともに、原さんにしっかりと勉強をし

てくださいとの励ましの言葉があり、また、お祝いの歌を披露した。

「故郷の 思い出想い ブエノスの 楽しい集い 55 年の仲間」

さらに、石川議長から、このようにいい式典に県議会の有志とともに訪問できたことはとても光栄であること、アルゼンチンと兵庫県が経済、青少等様々な分野で交流を広げ、絆が強くなるよう応援していきたい旨のお祝いの言葉があった。

福嶋大使からは、自分も兵庫県出身（ご両親が川西市在住）であり、県人会員として活躍したいこと、さらに、JICAの支援で県立大学の野球部有志がアルゼンチンを訪問し、アルゼンチンのチームと交流しているが、東京オリンピックにはアルゼンチンチームが出場できるように応援をお願いしたいとの言葉があり、また大使の乾杯の発声で祝賀会が始まった。

（感謝状・高齢者表彰授与）

その後の祝賀会には、原リカルド元会長及び山田アンヘル前会長に対し井戸知事から、知事感謝状が、また、満80歳以上の高齢者6名に対して表彰状が授与された。高齢者を代表し滝波勇氏（80歳）から、今回の表彰状を受けることは長くよい思い出になると、感謝の言葉があった。

祝賀会は、知事や県議会友好訪問団、県人会会員同士の和やかな懇談、さらにはタンゴショーの歌と踊りを楽しんだ。

（3）パラグアイ兵庫県人会との交流会

○ 日 時：平成27年8月22日（土） 12:00～14:30

○ 場 所：レストラン広島（アスンシオン市内）

○ 参加者：約40名

（パラグライ兵庫県人会側）

岸田会長、橋本副会長、岡本総務 等

（兵庫県側）

井戸知事、岡田国際局長 等

（大使館）

上田在パラグアイ特命全権大使 等

○ 内 容：

岸田会長から「知事をお招きすることを願っており、それが実現しうれしく思った。日系人が80年の間、こつこつと働き、信頼できる人間との評価を得ていることをご自分の目で見ていただきたい。」との挨拶の言葉があった。

井戸知事からは、もともとパラグアイは戦後移民が中心で、JICAプロジェクトも多く、日系人に対する評価も高いので、「岸田会長及び上田在パラグアイ特命全権大使からの強い要望があり、訪問させていただいた。日系人のご活躍はこれまでから伺っており、これからのご活躍も祈念している。」とし、次の歌を披露した。

パラグアイ兵庫県人会 55年に寄せて

「ラパッチョに迎えられて尋ねたり 絆の強さに 知る55年」

また、この機会に、井戸知事から岸田県人会長に県功労表彰が、同県人会会員で満80歳以上の高齢者1名に対して表彰状の授与が行われた。岸田会長からは「私個人としてではなく県人会を代表してもらった。」とお礼の言葉があった。続いて、上田大使から「知事が日系人の活躍を見に来ていただいたのは素晴らしいことだ。兵庫県に帰られた後も、在兵庫県パラグアイ兵庫県人会大使としてよろしくご支援いただきたい」との挨拶があった。この後、橋本県人会副会長の乾杯のあいさつにより懇親会が始まり、家族ごとの自己紹介がなされるなど、わきあいあいとした雰囲気の中でおこなわれた。

上田大使からは、最近のパラグアイの経済発展とまちづくりの推進には著しいものがあること、パラグアイの日系人は大変尊敬と信頼を得ていること、もっともっとパラグアイを知り、体験して欲しいので、協力して欲しいとの要請を受けた。

また、来年は、パラグアイに日本人が入植して80周年を迎えるので、是非兵庫県からの参加をと依頼された。



(交流会参加者全員との記念撮影)

3 経済団体及び在外公館訪問

(1) 経済団体訪問

ア パラナ州工業連盟との経済交流会議

○ 日 時：平成27年8月20日(木) 15:00～17:40

○ 場 所：パラナ州工業連盟本部（クリチーバ市内）

○ 参加者：60名

(パラナ州側)

ジアコモニ副会頭等パラナ州工業連盟会員、西森下院議員、バーホス企画調整局長、大城パラナ日伯商工会議所会頭 等

(兵庫県側)

井戸知事、三野日伯協会理事長、藤浪団長他経済訪問団 等

○ 内 容：

兵庫県とパラナ州の経済交流を盛んにするために開催した。まず、ジアコモニ・パラナ州工業連盟副会頭から、ようこそおいでいただきましたと歓迎の言葉があり、また西森下院議員からは、来年も間違いなく兵庫県へ経済団を派遣するとの言葉があった。また、井戸知事からは、「今回の受入を心より感謝してる。また、西森下院議員とも話あったが、春には訪問団におこしいただくということ、さらに大学間同士の研究生、留学生との交流が大切だ。」との言葉があった。

この後、井戸知事からパラナ州との貿易・投資促進について、パワーポイントを使った説明があり、続いて経済訪問団各メンバーを中心に各社の取組についてプレゼンテーションした。兵庫県を代表する川崎重工業や神戸製鋼所のブラジルにおける取組みや、ニッチマーケットにおいて世界で高いシェアを誇る中小企業の紹介、兵庫県からパラナ州へ進出している企業の現地での事業展開の報告があった。特に「代理店を見つけたい」、「いつの日かパラナ州に進出できれば嬉しい」などの発言は、パラナ州側の高い関心を呼んだ。

次に、パラナ州工業連盟のザーチャー氏から、パラナ州の経済産業の概要について説明があった。特に、パラナ州は、エネルギー・電気の発電量が多いこと、良質な水があること、地域的に恵まれていること、労働力の質が高いことなど、進出を考える上での不可欠な情報を具体的に説明していただいた。

最後に知事から、「兵庫県側企業の特長や熱意はご理解できたと思う。今回、企業同士の意見交換の前段までいったことを喜んでいる。次回は、兵庫県で皆さんを歓迎したい。また、できればパラナ州に視察団をさらに訪問させたい。」と



(プレゼンする井戸知事)

の決意を表明した。

なお、兵庫県からパラナ州に進出しているハリマ化成、シスメックス及び住友ゴム工業は両県州の友好関係を活用して進出をした経緯を持つ。

(参考3) パラナ州側企業等名簿

(参考4) 経済訪問団名簿

(参考5) 「ブラジル・パラナ州との貿易・投資促進を目指して」

イ リオデジャネイロ日本商工会議所等日系団体との意見交換会・懇親会

○ 日 時：平成27年8月18日(火) 17:30～21:00

○ 場 所：在リオデジェネイロ日本国総領事館他

○ 参加者：

(日本商工会議所側)

今井副会頭他リオデジャネイロ日本商工会議所会員企業7名、高尾日伯文化連盟第一副会長他4名

(兵庫県側)

井戸知事、岡田国際局長 等

(総領事館)

近藤主席領事

○ 内 容：

リオデジャネイロ日本商工会議所(正会員26社、賛助会員26社)から兵庫県に関係が深い会社などから7人に参加いただき、意見交換を行った。

まず、井戸知事から兵庫県の現状として、今年1月に阪神・淡路大震災から20年を迎えたこと、人口減少社会下で兵庫の元気を持続する地域創生に取り組んでいること、兵庫県の現在の経済・労働状況と課題、そして、環境改善などリオデジャネイロと兵庫県との交流可能性についての説明を行った。

これに対して、リオデジャネイロ日本商工会議所側から、石油・鉄鉱石など一次産品の価格下落などによるブラジル経済の低迷、国際的な資源メジャーであるペトロプラス石油公社に関わる贈収賄事件の影響による事業のストップ、労働コスト、輸送コストの上昇、煩瑣な各種制度、税制度、それに伴う書類手続きなど数多い困難な課題があること、しかし、資源が豊かで、



(意見交換の様子)

若い労働者が多いなどブラジルの将来性の観点から粘り強く、会社発展のために取り組んでいることが紹介された。また、人材育成こそブラジル・日本両国にとり中長期的に重要であり、大学交流や職業訓練を国や県に支援をお願いしたいとの要望がなされた。

また、意見交換後に日伯文化協会高尾第一副会長他も加わり、リオデジャネイロ市内レストランで懇親会が開催された。

(参考6) リオデジャネイロ日本商工会議所等出席者名簿

ウ シスメックスブラジル訪問

○ 日 時：平成27年8月19日(水) 9:00～10:40

○ 場 所：シスメックスブラジル(サンジョゼ・ドス・ピニャイス市)

○ 参加者：

(シスメックス側)

川戸エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、シスメックスアメリカ
本田マネージャー、シスメックスブラジル 等

(兵庫県側)

井戸知事、三野日伯協会理事長、岡田国際局長 等

○ 内容：

創立 15 周年を迎えるシスメックスブラジルを、パラナ州訪問を機に視察した。
同社は、従業員 62 名、売上高 57 百万ドル(平成 26 年度)、シスメックスグルー
プの中南米地域管轄として、検査試薬生産(血液検査、尿検査)及び代理店販売、
技術・学術サポートを主な業務としている。2000 年の進出は、日伯工業技術センタ
ー(Tecpar)を活用して、ブラジル市場及びパラナ州の人材も期待されていた。結果
として、順調に売上を伸ばし、成長するとともにパラナ州から優秀な人材を多く採
用でき従業員数が当初と比べ随分と増加している。

同社から、現在、カイゼン、5Sなどの日本のよい仕組みを導入し、社員が提案
する風土をつくりあげていること、また、今後ともさらに売上げを伸ばすとともに、
原材料の現地調達などによるコスト削減を図り、シスメックスグループを牽引する
会社にしていきたいとの希望が述べられた。このような会社概要についての説明の
後、試薬の製造過程も見学した。



(挨拶する井戸知事)



(見学の様子)

エ 住友ゴム工業ブラジル訪問

○ 日 時：平成 27 年 8 月 19 日(水) 15:00~16:15

○ 場 所：住友ゴム工業ブラジル工場 (ファゼンダ・リオ・グランデ市)

○ 参加者：

(住友ゴム工業側)

三野会長、窪田社長、脇谷工場長 等

(兵庫県側)

井戸知事等友好代表団、経済訪問団 等

○ 内容：

2 年前に開所された住友ゴム工業ブラジル工場を、友好代表団及び経済訪問団が
パラナ州訪問を機に視察した。同社は、工場敷地面積が 50 万㎡でラジアルタイヤ
の製造を行っており、従業員数は、約 1,300 名で、その内日本人は 23 人が駐在。

同社訪問では、まず会社概要の説明があり、三野住友ゴム会長、井戸知事のあい
さつの中で、ブラジル進出は、兵庫県の支援を契機として用地選定がなされ、いわ
ば兵庫県とパラナ州の経済交流のシンボルの 1 つとなっているとの紹介がなされ
た。また、2015 年末には、1 日 15,000 本の生産で、2015 年の売上を 6 億 600 万レ
アル(242 億円)と予定するとともに、今後、現在規模の 2 倍以上まで増設できる
余地を有しているとの説明もあった。

良質な労働力は想像以上で、住友ゴムグループの中で実施した技能オリンピックでは、同社が、仕上げ検査部門で第2位の成績を工場の生産開始からわずか2年であげたことなどの説明があり、技術力の向上に対する仕組みの重要性が浮かび上がった。その後、ラジアルタイヤの製造過程の見学を行った。



(挨拶する井戸知事)



(見学の様子)

(2) 在外公館訪問

ア 在フランクフルト日本国総領事面談

- 日 時：平成27年8月17日（月）
- 場 所：在フランクフルト日本国総領事公邸
- 参加者：
(総領事館側)
神山総領事、福多副領事 等
(兵庫県側)
井戸知事、岡田国際局長 等

- 内 容：
南米訪問の機会に平成6年度から8年度までの3年間兵庫県水質課長として勤務経験がある神山総領事を訪ね、兵庫県とドイツ、フランクフルトとの交流推進について協議を行った。

井戸知事からは、兵庫県がシュレスビツヒホルンシュタイン州などと交流を進めていることを説明した。神山総領事からは、総領事館では、JETROに協力して、日本の中小企業とフランクフルトの中小企業を結びつける支援を行っており、兵庫県の中小企業や特産品を売り込むため、県パリ事務所と協議を行いたいなどの要請がなされた。特に、産業博覧会への参加を求められた。

イ 在リオデジャネイロ日本国総領事面談

- 日 時：平成27年8月18日(火) 11:30～13:30
- 場 所：在リオデジャネイロ日本国総領事館
- 参加者：
(総領事館側)
山元総領事、近藤主席領事 等
(兵庫県側)
井戸知事、岡田国際局長 等

- 内 容：
山元総領事からリオデジャネイロ、ブラジル情勢について説明を受けた。
ブラジルの経済面では、石油などの一次産品の下落で景気はよくなく、2015、2016年の2か年はマイナス成長の見込みであり、ここ1年が特に厳しいとのこと、しかし、石油の生産性が高く、単位コストが下がってきていることなどから、未来は明

るいこと、さらにリオデジャネイロと日本との交流では、防災、治安、環境、スポーツ、オリンピック・パラリンピックでの協力関係を拡充していることなどについて、話していただいた。

神戸市とリオデジャネイロ市は姉妹提携しており、さらなる交流への期待も述べられた。

ウ 在クリチバ日本国総領事主催夕食会

○ 日 時：平成 27 年 8 月 20 日(木) 18:30～20:00

○ 場 所：在クリチバ日本国総領事館（クリチバ市内）

○ 参加者：約 70 名

（総領事館側）

池田総領事、岩戸領事 等

（兵庫県側）

井戸知事、各訪問団代表者、岡田局長、山下県ブラジル事務所長 等

（パラナ州側）

西森下院議員、バーホス州行政長官、山脇パラナ日伯修交 120 周年祭式典委員会委員長

○ 内 容：

主催者の池田総領事から、「兵庫県とパラナ州の更なる交流と発展を祈念したい。」との挨拶があり、続いて井戸知事から「本日、共同声明の調印で、さらなる兵庫県・パラナ州の交流が推進できることを喜んでいる。このような場を設けていただいた総領事に感謝申し上げるとともに、兵庫県とパラナ州とがさらに交流を拡大発展させることをお誓いし、また、そのために総領事の協力をお願いしたい。」とお礼の言葉を述べた。パラナ州を代表して、バーホス州企画調整局長官から「パラナ州、兵庫県との友好提携 45 周年をお祝いする。マリンガ市長時代に作った日本庭園があるので、是非ともご覧いただきたい。」との挨拶があった。

そして、山脇パラナ日伯修交 120 周年祭式典委員会委員長による乾杯の発声で夕食会が始まった。夕食会では、総領事館、パラナ州、兵庫県関係者が懇談を深めた。

また、夕食会の後、井戸知事から、山下亮パラナ兵庫県人会長（兵庫県ブラジル事務所長）に、池田総領事、西森下院議員等立ち合いのもとで県功労者表彰を授与した。



（表彰者との記念撮影）

エ 在パラグアイ日本国特命全権大使面談・夕食会

○ 日 時：平成 27 年 8 月 22 日(土) 18:00～19:30

○ 場 所：在パラグアイ日本国大使館（アスンシオン市内）

○ 参加者：

（大使館側）

上田特命全権大使

（兵庫県側）

井戸知事、岡田国際局長

（日系人側）

岸田県人会長、豊歳パラグアイ日本商工会議所会頭、板木常石造船社長

○ 内 容：

井戸知事と上田大使が、夕食をはさみながら、パラグアイの政治・経済事情について幅広く意見交換を行った。夕食会には、駐日パラグアイ大使の子息である豊歳

パラグアイ日本商工会議所会頭とバージ船の建造を行っている板木常石造船社長を加えてビジネス事業についても意見交換を行った。経済情勢では、ブラジルやアルゼンチンが景気低迷にあえぐ一方、パラグアイでは、自動車部品メーカーの進出決定など経済も活況を示していることが報告された。また、パラグアイは大統領が民間出身者となり、積極的な対応ができる環境になったほか、また日系人が尊敬されているからこそ、訪問して欲しい旨の要請があった。

併せて、来年9月9日に日本からのパラグアイ移民80周年式典が開催されるので、是非参加するよう勧められた。

オ 在サンパウロ日本国総領事面談

○ 日 時：平成27年8月24日(月) 12:00～13:30

○ 場 所：在サンパウロ日本国総領事館

○ 参加者：

(総領事館側)

中前総領事、長沼領事

(兵庫県側)

井戸知事、岡田国際局長 等

○ 内 容：

井戸知事と中前総領事が、兵庫県とブラジルとの交流推進について意見交換を行った。中前総領事からは、「日系人社会は、ブラジル全体で190万人とされているが、世代交代が課題である。日本人移民のおかげで日本からきたというだけで正直で信頼できる人と見てもらえる。これは大変な資産であり、続けていきたい。」との問題提起がなされた。井戸知事からは、「留学生や研修生の制度を県人会ときちんと結びつけなければならない。兵庫県は研修生の制度を続けていきたい。」との決意が示された。

4 現地施設視察

(ブラジル連邦共和国)

(1) マラカナン・スタジアム

○ 日 時：平成27年8月18日(火) 9:30～11:00

○ 場 所：マラカナン・スタジアム (リオデジャネイロ市内)

○ 参加者：井戸知事、岡田国際局長、山下在リオデジャネイロ日本国総領事館領事等

○ 内 容：

2016年8月に開催される第31回夏季オリンピック・リオデジャネイロ大会の開会式・閉会式及びサッカー競技会場となるマラカナン・スタジアムを視察した。

1950年にサッカー専用スタジアムとして完成。以前は、20万人の収容人員であったが、1992年のスタンド落下事故を機に大幅に削減され、現在は全席椅子席約8万人。総領事館や同スタジアム運営団体職員から、競技場内、観客席、選手控室などの案内を受けるとともに、雨水の散水活用、太陽光発電による電気の屋内施設照明への活用などについての説明を受けた。



(見学の様子)

(パラグアイ共和国)

(1) アスンシオン市内視察

- 日 時：平成 27 年 8 月 22 日(土) 9:40～11:30
- 場 所：コスタネーラ、旧国会議事堂、ホテル内山田 等
- 参加者：井戸知事、上田大使、岸田パラグアイ兵庫県人会長、橋本同副会長、岡田国際局長ほか
- 内 容：

アスンシオン市内を上田大使、パラグアイ県人会岸田会長等の案内で視察した。コスタネーラは、パラグアイ川沿に整備されたエリアで、2013 年完成。遊歩道や人工ビーチがあり、散歩やランニング、自転車などを楽しむ市民で賑わっている。かつては、危険なエリアだったが、コスタネーラ通りの開通で人が集まる場所になった。旧国会議事堂（カビルド）は、19 世紀初頭の建築で、パラグアイの文化や歴史などを紹介する博物館として公開されている。

ホテル内山田は、長崎県出身の日系移民が創業した近代的なホテル。新館と旧館並びに 99 年に完成した最新式の設備を備える高層ホテル（地上 19 階、地下 1 階）からなる。屋上から市内を展望し、アスンシオン市が水と緑に囲まれたまちであること、さらに屋根が瓦の原材料の土の色である茶色であることがわかった。

(2) パラグアイ・日本センター (Centoro Paraguayo Japonesa)

- 日 時：平成 27 年 8 月 22 日(土) 14:55～15:55、20:00～21:00
- 場 所：パラグアイ・日本センター
- 参加者：

(パラグアイ側)
ペティ・スポーツ大臣、ペドロソ・パラグアイ・日本センター館長 等

(兵庫県側)
井戸知事、上田大使、岸田パラグアイ兵庫県人会長、岡本同総務、岡田国際局長 等
- 内 容：

(施設視察)

日本政府の無償協力によって、1988 年に建設されたアスンシオン市役所付属の総合文化施設を見学した。当該施設は、スペイン語の頭文字をとり、通称 C P J（セー・ペー・ポタ）と呼ばれ、パラグアイの人気の文化施設となっている。また、パラグアイ有数の劇場を持ち、定期的にコンサートなど各種芸術イベントが開催されている。音楽教室、スポーツ教室、語学教室の他に若者向けの職業訓練や高齢者を対象としたパソコン教室等も開催されており、教育施設としても活用されている。

同会場では、大使館主催の日本文化週間が実施中であり、当日武道のデモンストレーション（柔道、合気道、空手道、弓道）が開会中で、ペティ・スポーツ大臣が迎えてくれた。



(見学の様子)



(柔道のデモンストレーション)

(名誉来訪者賞贈呈)

井戸知事に同センター館長からアスンシオン市の名誉来訪者賞が授与されるサプライズがあった。同館長からは、「これまで15,000人以上の研修生を輩出している。これも27年前に日本政府が贈っていただいたおかげである。また、日頃からの上田大使からのご支援について感謝する。そして、今回井戸知事の来館については心より歓迎する。」との言葉があり、井戸知事から「名誉来訪者賞をいただき大変名誉に思う。



(贈呈後の記念撮影)

兵庫県からも何かセンターに記念になるものをお贈りすることを検討したい。また、来年がパラグアイ日本人移住80周年であり、兵庫県としても代表団を派遣したい。さらにセンターには、パラグアイの将来を担う青少年の育成とパラグアイの高齢者の社会参加に機能を発揮されることを期待する。」との言葉があった。

その後、パラグアイの伝統的な音楽と踊りが披露されるとともに、「赤とんぼ」の演奏で歓迎を受けた。井戸知事からは「ふるさとの曲をここで聞かせていただけるとは思わなかった」とのコментарがあった。また、夕刻、「太鼓プロジェクト」の演奏があり、その力強いパフォーマンス、音色に会場は熱狂した雰囲気包まれていた。

なお、この「太鼓プロジェクト」は、アメリカ在住日系人のグループ3人（ブルヤン・ヤマミ、マサト・ババ、コウトニー・デグチ）で、伝統的なものだけでなく、新しいものも併せて伝えるとともに、単なるエンターテイナーとだけではなく芸術的なパフォーマンス集団を目指している。今回の演奏では、国際交流基金から支援を受けた南米ツアーの一環として、前半6曲、後半6曲の計12曲が披露された。

(3) アスンシオン日本人学校

- 日時：平成27年8月22日(土) 15:15～17:15
- 場所：アスンシオン日本人学校
- 参加者：
(日本人学校側)
田口校長、岸田副校長、教諭5名
(訪問者)
井戸知事、上田大使、岡田国際局長 等
- 内容：

1982年に設立された児童生徒数12名の日本人学校を訪問し、夏休み期間中であるが、田口校長をはじめ教諭6名と意見交換を行った。

井戸知事から、「子供の数を増やす必要があるとのことだが、まず、①素敵な教育環境であること、②教諭に熱意があること、③それらに児童が感応してくれが必要である。ますます頑張ってくださいをお願いし期待をさせていただきます。」との言葉があり、田口校長からは、「教育環境に恵まれ、長い時間をかけ整備してきたので、児童・生徒数を増加させる必要がある。井戸知事にもご関心をお持ちいただければ幸いである。」とのコментарがあった。

その後、教諭たちとの意見交換では、「これまで小学校で教えてきたが、ここでは中学部で教えるなど、経験したことがないことをして、最初は大変だったが楽し

くやっている。」「何気なく普通に話している言葉であるが、こどもたちが分かっていることがわかり、新鮮であった。」「自分で考えさせることを重視している。」などの説明を受けた。



(学校側との記念撮影)

5 その他

アスンシオン（パラグアイ）から経由便でサンパウロに向かう途中で、経由地シウダー・デル・エステ空港でエンジントラブルが発生（深夜3時）、その航空便がキャンセルになる事態に遭遇した。このため急ぎよ、フォス・ド・イグアス空港（ブラジル）にタクシーで移動し、そこから、サンパウロ空港まで向い、ブラジル兵庫県人会 55 周年記念式典に駆け付けた。

IV 渡航日程

日時	日程	宿泊地
8月17日(月)	出発 フランクフルト着 在フランクフルト日本国総領事面談 フランクフルト着／フランクフルト発	機内泊
8月18日(火)	リオデジャネイロ着 在リオデジャネイロ日本国総領事面談 マラカナン・スタジアム視察 リオデジャネイロ日本商工会議所等日系団体との意見交換会	リオデジャネイロ泊
8月19日(水)	リオデジャネイロ発 クリチバ着 進出企業視察	クリチバ泊
8月20日(木)	兵庫県・パラナ州友好提携45周年記念事業 パラナ州工業連盟との経済交流会議 在クリチバ日本国総領事面談 パラナ日伯修交120周年祭式典委員会主催周年記念コンサート	クリチバ泊
8月21日(金)	県柔道訪問団・パラナ柔道連盟合同練習見学 クリチバ発 ブエノスアイレス着 アルゼンチン兵庫県人会創立55周年記念式典	ブエノスアイレス泊
8月22日(土)	ブエノスアイレス発 アスンシオン着 アスンシオン市内視察 パラグアイ兵庫県人会との交流会 パラグアイ・日本センター、アスンシオン日本人学校視察 在パラグアイ日本国特命全権大使面談	
8月23日(日)	アスンシオン発 サンパウロ着 ブラジル兵庫県人会創立55周年記念式典 兵庫県技術研修員及び留学生OBとの懇談	サンパウロ泊
8月24日(月)	移民先没者慰霊碑訪問 在サンパウロ日本国総領事面談	
8月25日(火)	フランクフルト着 フランクフルト発	機内泊
8月26日(水)	帰国	

(問い合わせ先)

産業労働部国際局国際交流課交流企画班

TEL: 078-362-3026